

深まる☆ICTの利活用

第1回 ICT教育エリアミーティングを開催！

ICT教育エリアミーティングは、令和5・6年度の2年間（4回）の事業として行います。目的としては、

学校種を超えて全ての学校代表が参加するミーティングを設けることで、教員間が協働的に対話を行うとともに、互いの教育実践から指導法を学び合う機会を創り、発達の段階や障がい種に応じた効果的なICT活用による授業の構築を目指す。

ことになります。

目的ではなく、手段として



【延岡・西白杵エリアの様子】



【日向・東白杵エリアの様子】

北部管内では、

7月3日（月）：延岡・西白杵エリア@延岡市社会教育センター

7月7日（金）：日向・東白杵エリア@大王谷コミュニティセンターにて行いました。

当日は、小・中・義務教育学校・県立高校・特別支援学校のICT担当が集まり、充実した時間を共有することができました。

特にグループワークでは、「主体的・対話的で深い学び」のある授業をつくるうえで欠かすことのできない要素を優先順位をつけながら考えました。参加者からは、「導入場面の工夫」「友達との対話」「個人で考える時間」等の意見が交わされました。そして、その協議の中で「ICTを活用することによって、より効果的な場面はどこか？」をグループで話し合い、ICTの活用が、**目的ではなく**、「主体的・対話的で深い学び」のある授業を展開するうえでの**効果的な手段**であることを共有することができました。

ぜひ、各学校においても、参加されたICT担当の先生のお話を聞いていただき、「スキル」習得のための研修だけでなく、「何のためにICTを使うのか？」「ICTを使って、何がしたいのか？何ができるようにしたいのか？」等をもう一度見つめ直す研修を実施していただければと思います。

～参加者の声～

- 一方的に聴く研修ではなく、対話的なスタイルのミーティングがとてもありがたかった。他校種の先生方と意見交換をする機会はなかなかないので、貴重な時間だった。今日得たことをどのように学校に還元しようか悩むが、「使い方」に偏らない研修をしていきたい。
- ICT教育の教育観について再認識させられた研修だった。県全体で共有できるとよい。
- 普段から授業でICTを活用しているが、目的に沿って活用できているかを考えるきっかけになった。今までの学習形態のよさと、ICTのよさをベストマッチングさせるという視点をもって、授業づくりをしていきたい。

困った時は・・・

研修センターHPの「ICT活用事例集」では、県内各地の先生方の授業の動画を見ることができます。パスワードは、【ictmodel】です！また、文部科学省HPの「StuDX Style」では、ICT活用に関する動画等が分かりやすく掲載されています。ぜひご覧ください。



県教育研修センター
Webページ

パスワード
【ictmodel】



StuDX Style
Webページ